

事務事業名		災害ボランティアセンター運営事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課		
総合計画体系	政策名	政策外		所属G	総務G	課長名	板持 徳生		
	施策名	施策外		担当者名	板持 裕朗	電話番号	0854-40-1041 (内線) 2131		
	目的・対象	意図		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	災害救助事業
	基本事業				項	目	中事業	中事業名	災害ボランティアセンター運営事業
目的・対象	意図			2:0	0:5	1:0	業名		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を取り戻すために支援が必要な被災者。 被災者を支援したいボランティア希望者。 	<ul style="list-style-type: none"> 被災者が日常生活を取り戻す。 ボランティア希望者の活動によって被災者支援が進む。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度 ~ 年度)	7月1日からの大雨により雲南市内で発生した災害に対し、災害ボランティアが効果的に活動できるよう、「雲南市災害救援ボランティアセンター」を雲南市社会福祉協議会(市社協)へ委託設置し、災害ボランティア活動ニーズの把握、ボランティアの受付、登録、派遣調整など、受入体制を確立し、活動を支援する。 【財源:災害救助費負担金】
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) <ul style="list-style-type: none"> 災害救援ボランティアセンター設置準備(県社協・市社協) 市社協とセンター設置委託契約締結 ニーズ把握、ボランティア受付・登録、両者のマッチング(調整) ニーズ受付73件(うち対応不可9・取り下げ13・閉鎖後実施1) ボランティア登録318人・活動実績78班のべ529人・50件完了 	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 雲南市ではこれまでに災害ボランティアセンターを設置した例がなく、今回が初めての事業実施となった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア ニーズ受付件数	件			73	
イ ボランティア登録人数	人			318	
ウ ボランティア活動のべ人数	人			529	
エ ボランティア完了件数	件			50	

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
委託料:3,548,427円		財源内訳	国庫支出金	千円				
・センター運営に従事した市社協職員の 人件費(時間外・休日勤務手当)			県支出金	千円			3,549	
・応援スタッフとして従事した県内社協 職員の人件費(時間外・休日勤務手当) 及び旅費			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	0	0	3,549	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	災害救援ボランティアセンターを7月15日から30日までの16日間開設し、318人にボランティア登録していただき、寄せられたニーズのうち50件の作業を完了した。室内の泥出しやゴミ出し、拭き掃除を中心に78班のべ529人に活動していただいた。 コロナ禍の活動となったため、ボランティアの募集は雲南圏域1市2町在住または勤務の方に限定し、事前登録制としたため、受け付け時に大きな混乱がなく、比較的スムーズに活動することができた。
② 事業実施するうえでの課題	ボランティア活動に不可欠な資機材、特に軽トラックの確保が課題。センターの運営体制は、委託先の市社協職員がほぼ総動員されており、あまりにも負担が大きかった。助けが必要な方のニーズを把握する手段。ボランティアの募集方法。重機が必要な場所の対応(災害ボランティアセンターは重機の扱いは不可(県社協))。
③ 課題解決に向けた改革改善等	委託先の市社協と課題解決に向けた協議を継続していく。